

# 会社説明会

---

2009年11月25日



健康ホールディングス株式会社

本資料は、当社および当社グループの企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証、または、約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。

1. 当社グループ概要と体制
2. 主要グループ会社のご紹介
3. 2010年3月期(第7期)  
第2四半期業績概要

# 1. 当社グループ概要と体制

---

 健康ホールディングス株式会社

# 会社概要

会社名：健康ホールディングス株式会社

設立：2003年4月10日

代表者：代表取締役社長 瀬戸 健

資本金：112百万円（2009年9月末現在）

所在地：東京都中野区中央2-9-1サン・ロータスビル4F

グループ：連結子会社 6社

従業員数：単独7名（連結146名）  
（2009年9月末現在。パート、派遣除く）

事業内容：グループの中長期経営戦略の立案・遂行、  
グループ会社の事業戦略実行支援・事業活動の管理

グループ企業の  
事業内容：美容健康関連事業 ・ 食品関連事業

# 沿革

- 2003年 4月 健康食品の通信販売を目的として「健康コーポレーション株式会社」を設立。
- 6月 自社Webサイトにてインターネット通信販売を開始。
- 2004年 5月 インターネットショッピングモール「楽天市場」へ出店。
- 2005年 12月 インターネットショッピングモール「Yahoo!ショッピング」へ出店。
- 2006年 5月 札幌証券取引所アンビシャス市場に上場。
- 11月 株式会社ピースを設立。
- 2007年 1月 株式会社ジャパングールズを子会社化。
- 3月 システムパーツ株式会社を子会社化。
- 7月 株式会社弘乳舎を子会社化。
- 9月 純粋持株会社体制への移行に伴い、「健康ホールディングス株式会社」へ社名変更。  
「健康コーポレーション株式会社」を新設し、新設分割の方法により全事業を譲渡。
- 2008年 4月 Bijin株式会社を子会社化。

# 純粋持株会社体制への移行

2003年4月  
設立

健康コーポレーション(株)

カロリーコントロール用健康  
食品販売・一般健康食品販売

2007年9月

社名変更

健康ホールディングス(株)

純粋持株会社

カロリーコントロール用健康  
食品販売・一般健康食品販売

100%子会社

新 設

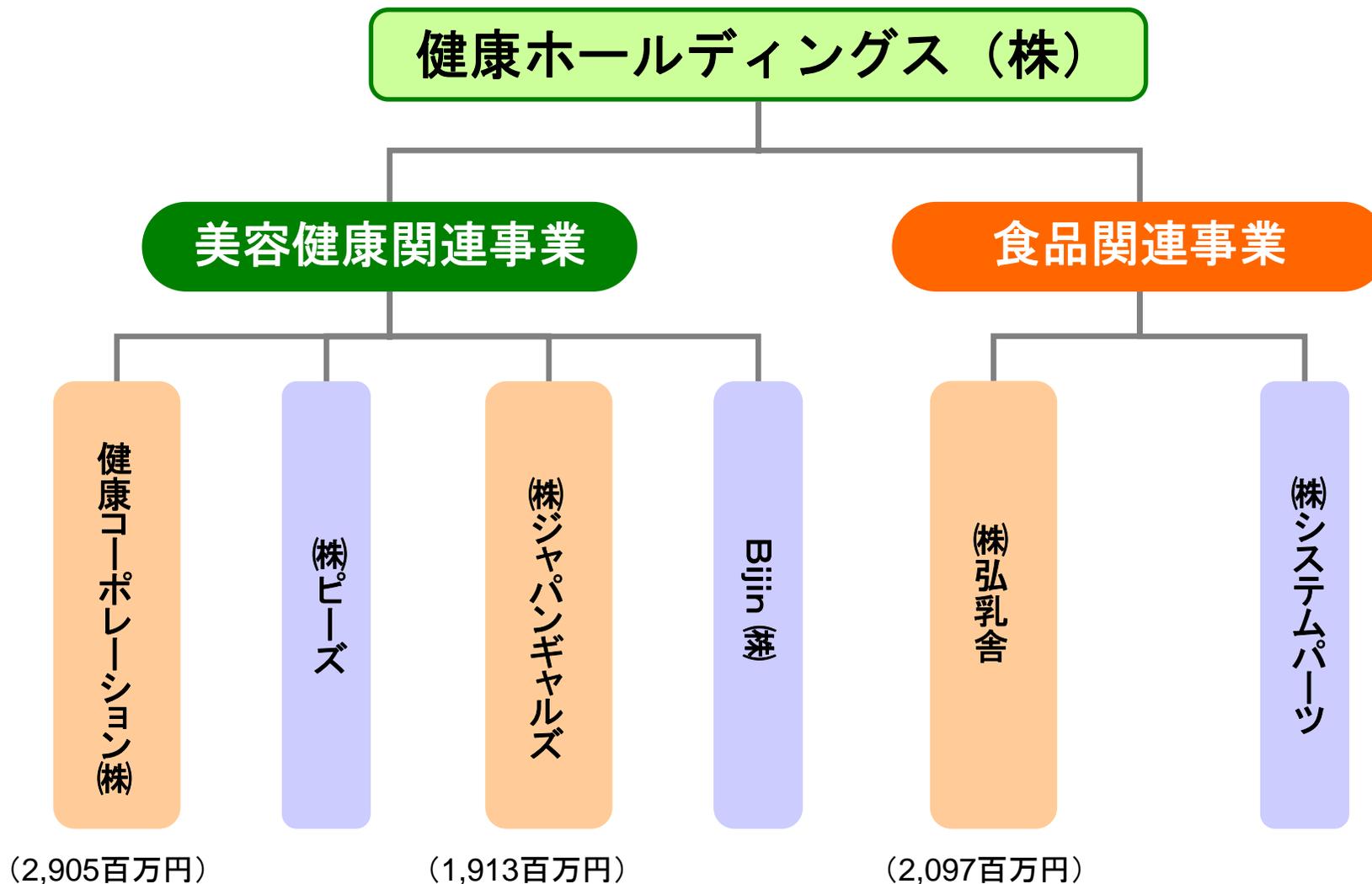
健康コーポレーション(株)

全事業を承継

新設分割

# グループ体制の再構築

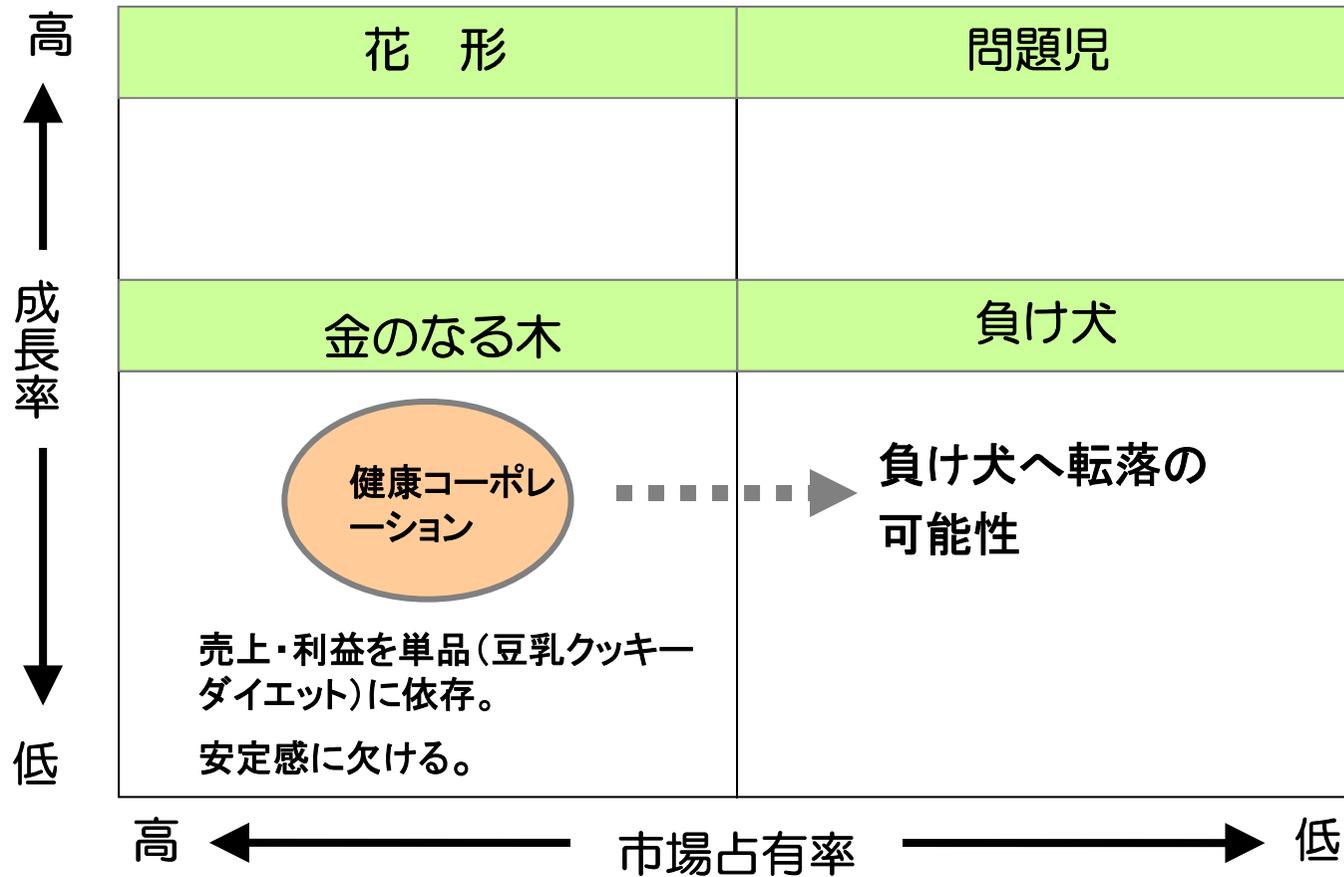
- ・単品(豆乳クッキーダイエット)依存から脱却する為、ここ3年でグループを再構築！



※(カッコ)内数字は、2009年3月期実績

# 当社のM&Aについて (M&A前)

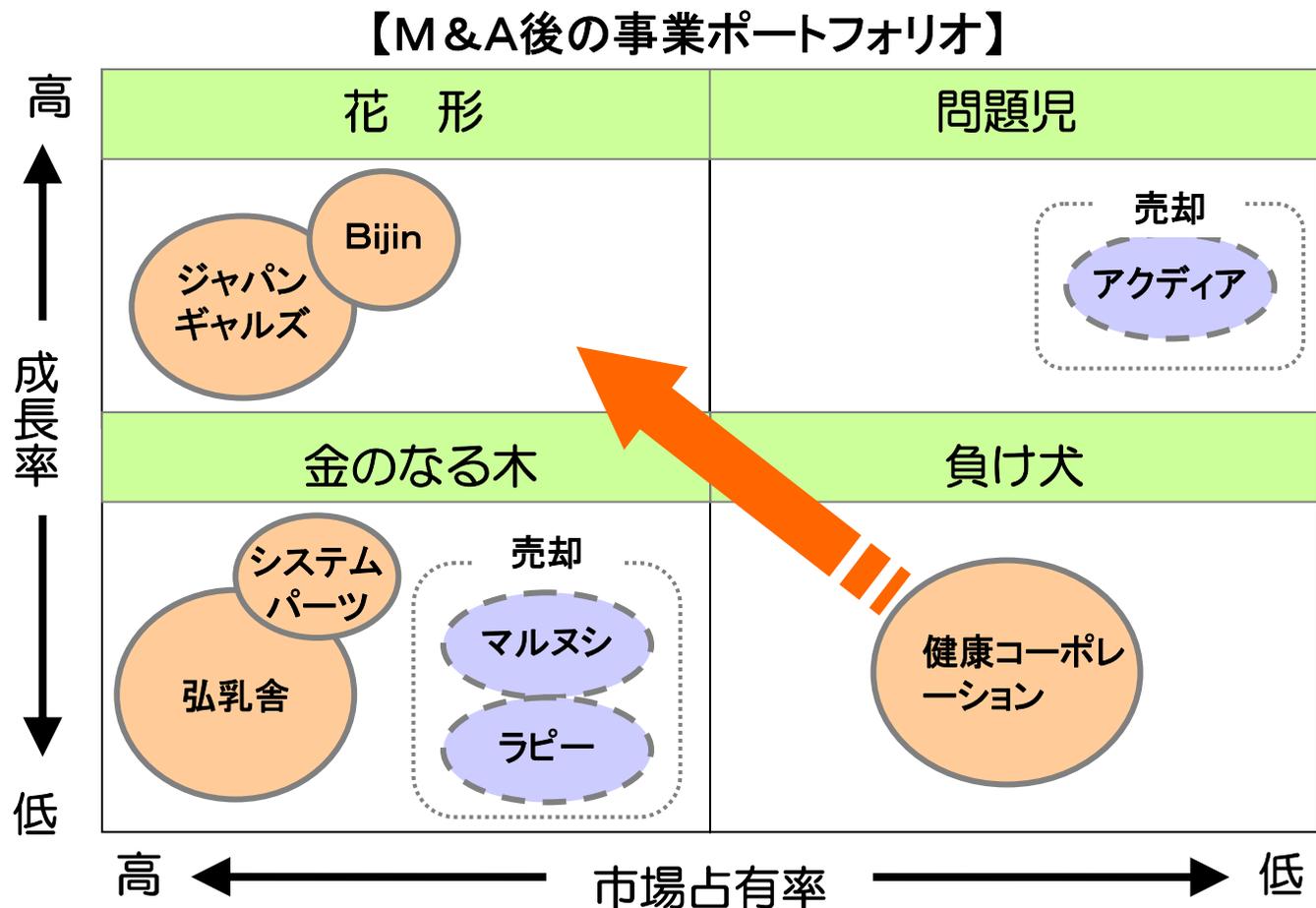
【M&A前の事業ポートフォリオ】



## 戦略

- 新規事業立ち上げの時間とリスクを考え、M&Aを決行
- 社歴があり安定性のある企業をM&A

# 当社のM&Aについて (M&A後)



M&Aの成果

グループの安定性と  
成長性を確保

課題

次の「花形企業」  
「花形事業」作り

今後

一手段として、  
M&Aの積極展開

## 2. 主要グループ会社のご紹介

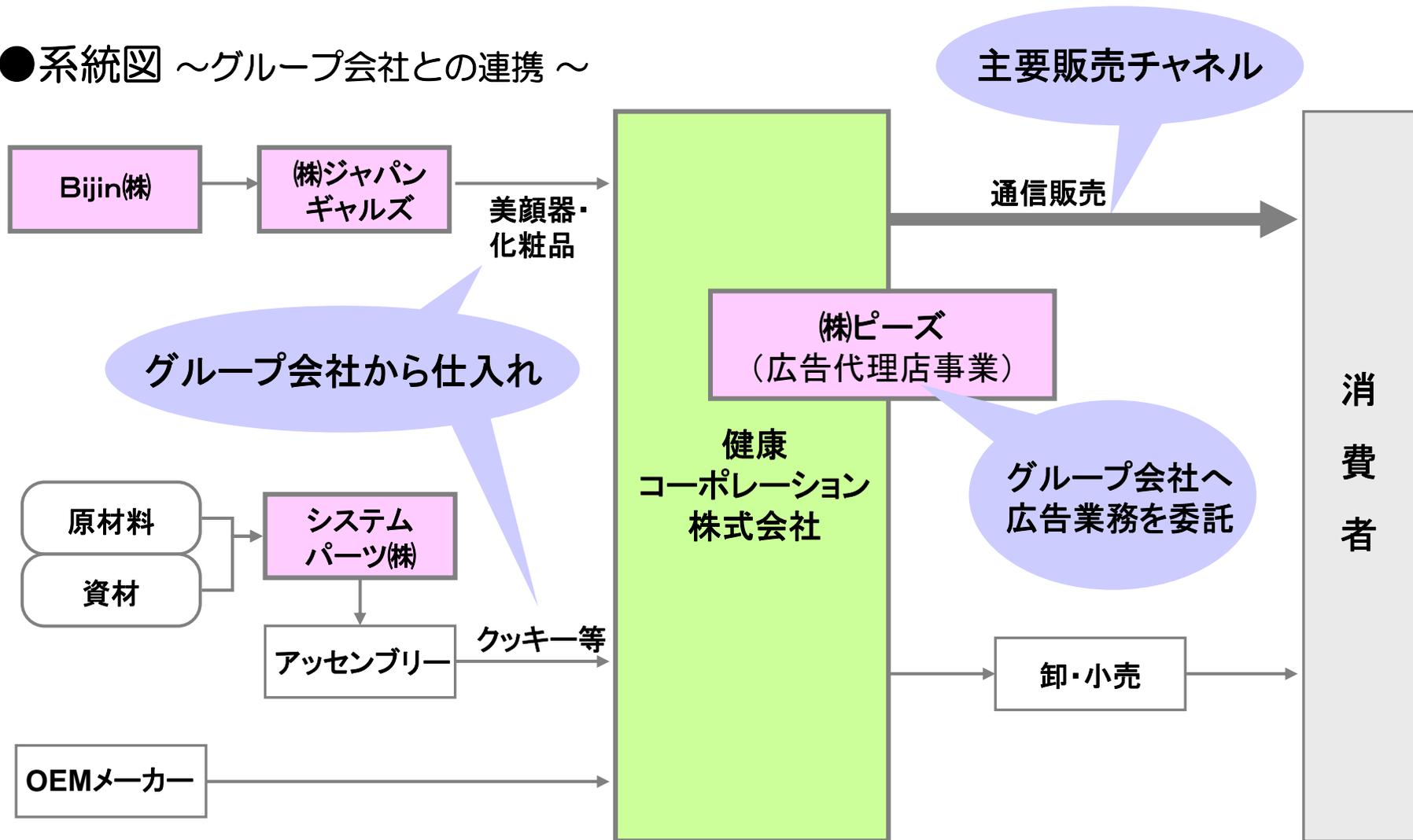
---

 健康ホールディングス株式会社

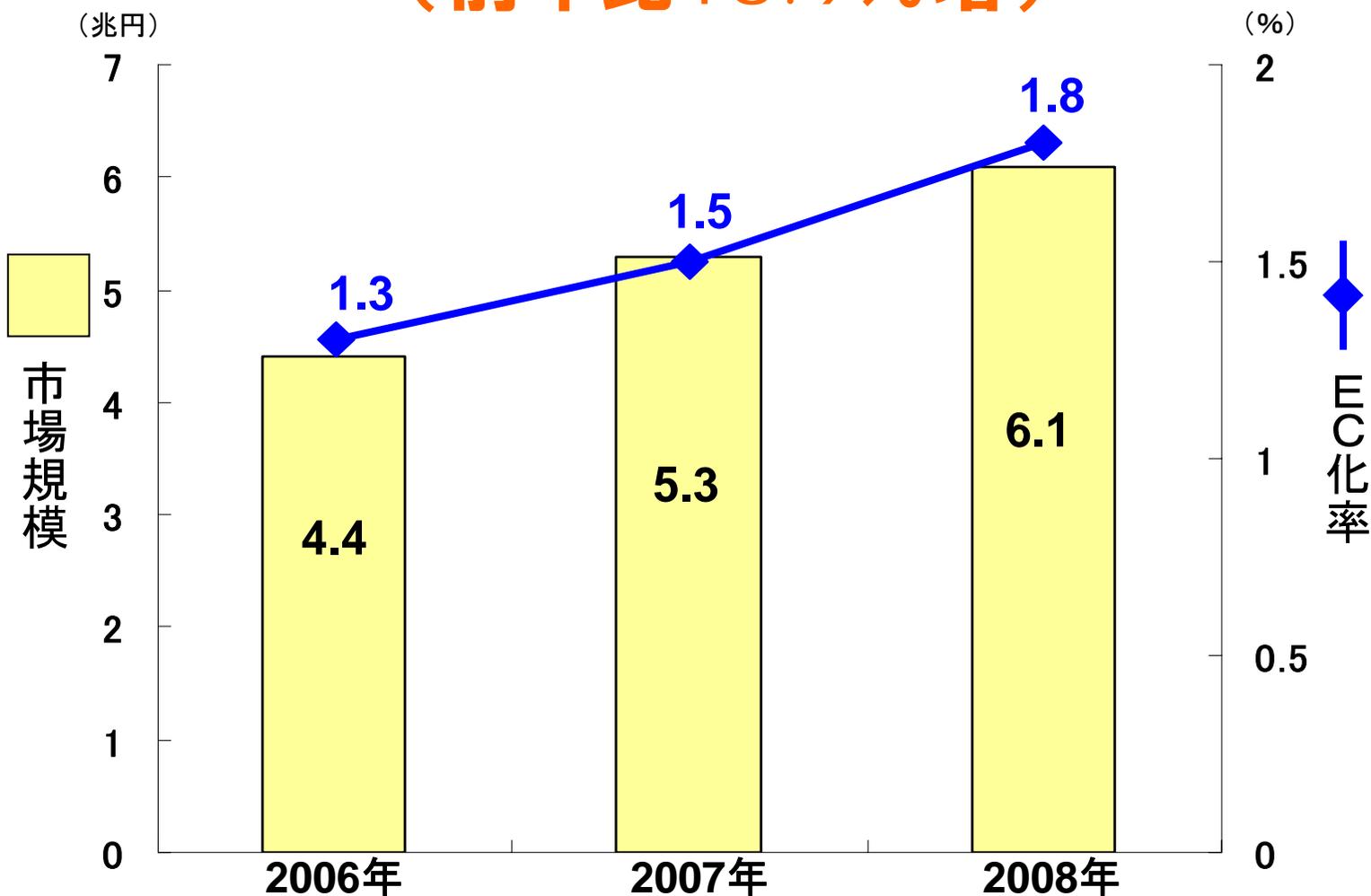
# 健康コーポレーション(株)

〔会社概要〕 所在地: 東京都中野区 / 事業内容: 健康食品の販売 / 設立: 2007年9月

## ●系統図 ~グループ会社との連携~



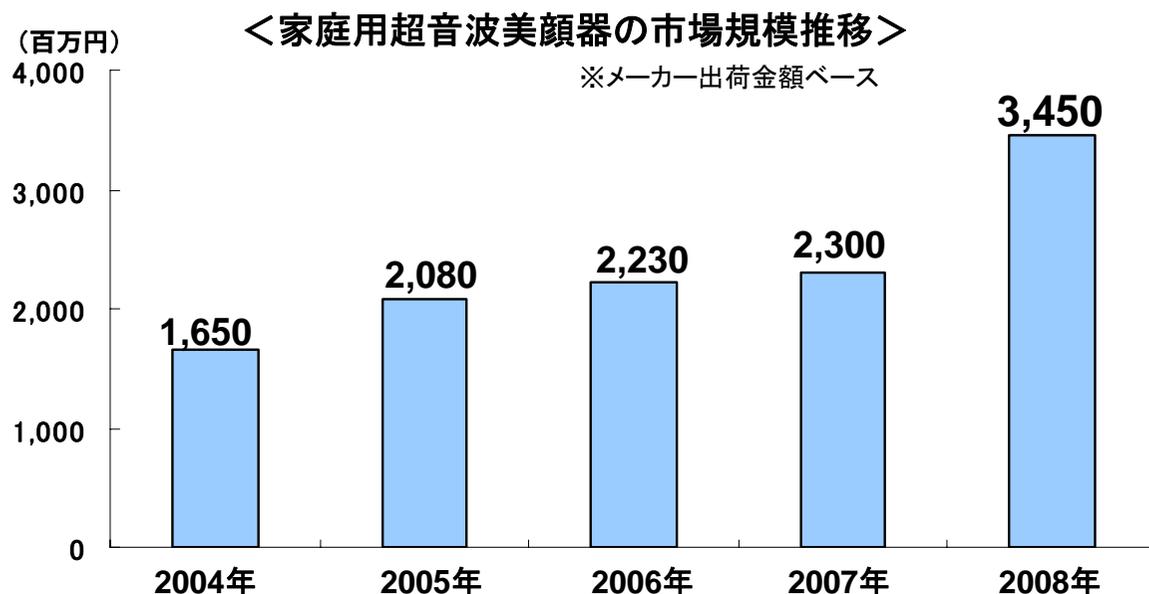
## 消費者向けEC市場規模は6.1兆円 (前年比13.9%増)



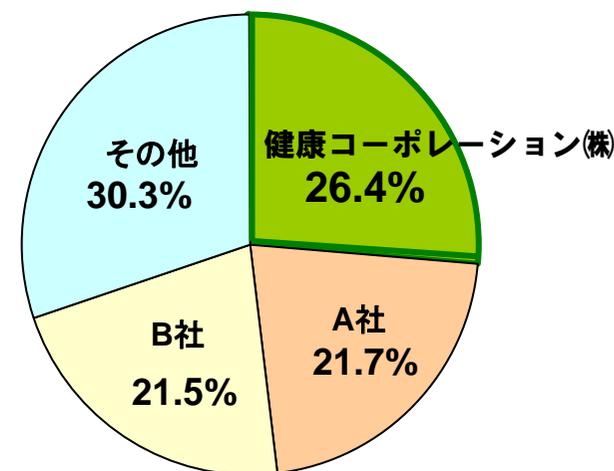
(出所: 経済産業省「平成20年度電子商取引に関する市場調査」)

※EC化率: 全ての商取引における、電子商取引(EC)による取引の割合。

## 通販市場の拡大・低価格化により 家庭用美顔器の市場規模は拡大



＜2008年 家庭用超音波美顔器市場の  
参入企業シェア＞  
※メーカー出荷金額ベース



(出所: 株式会社矢野経済研究所「化粧品マーケティング総鑑 2009年版」)

### ▼ 当社における潜在市場

**2008年度 化粧品市場規模：2兆3,144億円**

(出所: 株式会社矢野経済研究所「化粧品マーケティング総鑑 2009年版」)

# 健康コーポレーション(株)

## ・ビジネスモデルの特長



●販売方法の工夫によるリピーター獲得

- 高付加価値商品を、広告宣伝により広く認知
- 費用対効果の検証による“利益を生み出す”広告宣伝
- 効果の高いノウハウを蓄積

➔ 広告宣伝が当社の営業マン

### ★追加ポイント

売上の早期回収  
(=早期キャッシュ化)

⇒資金繰り安定度、大幅増

# 健康コーポレーション(株)

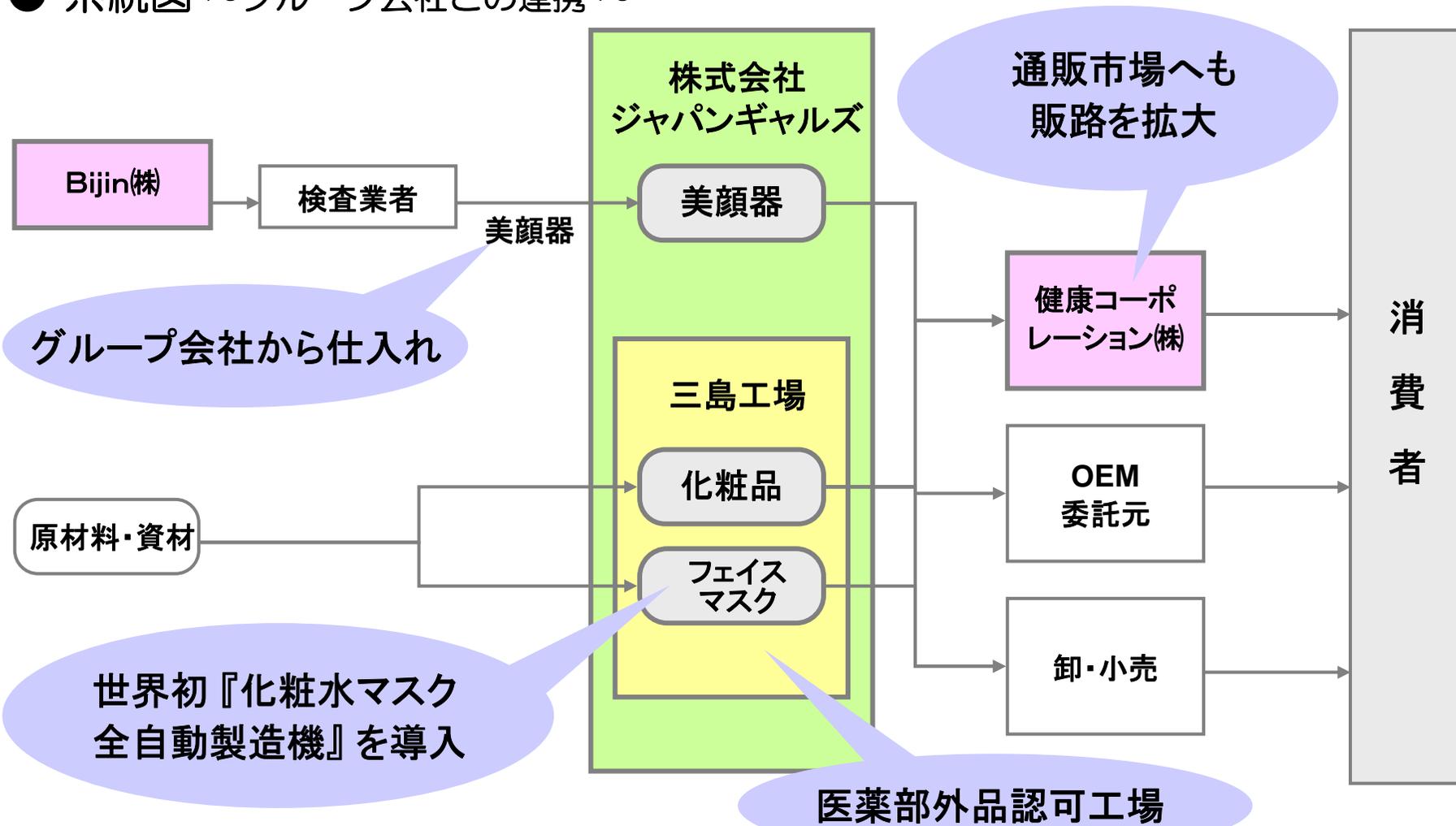
## ・『豆乳クッキーダイエット』『エステナード(美顔器等)』比較

	豆乳クッキーダイエット	エステナード
市場性	◎	◎ (特に潜在市場性あり)
外部環境・認知度	◎	△→○
参入障壁	× (低い)	○ (高い)
広告宣伝費	× (高いコストがかかった)	○ (コスト抑制に成功)
収益の 安定性・継続性	△	◎ (当社ビジネスモデルに特長あり)

# (株)ジャパングャルズ

〔会社概要〕 所在地:愛媛県四国中央市 / 事業内容:美容機器・化粧品等の製造販売 / 設立:1992年11月

## ● 系統図 ~グループ会社との連携~



## ・ビジネスモデルの特長

### 販売

- OEMによる安定的かつリスクの少ない取引体制
- 健康コーポレーションとの取引開始による新規販路の構築

### 仕入

- Bijin社を活用した仕入れ体制の構築
- Bijin社の仕入れノウハウの享受

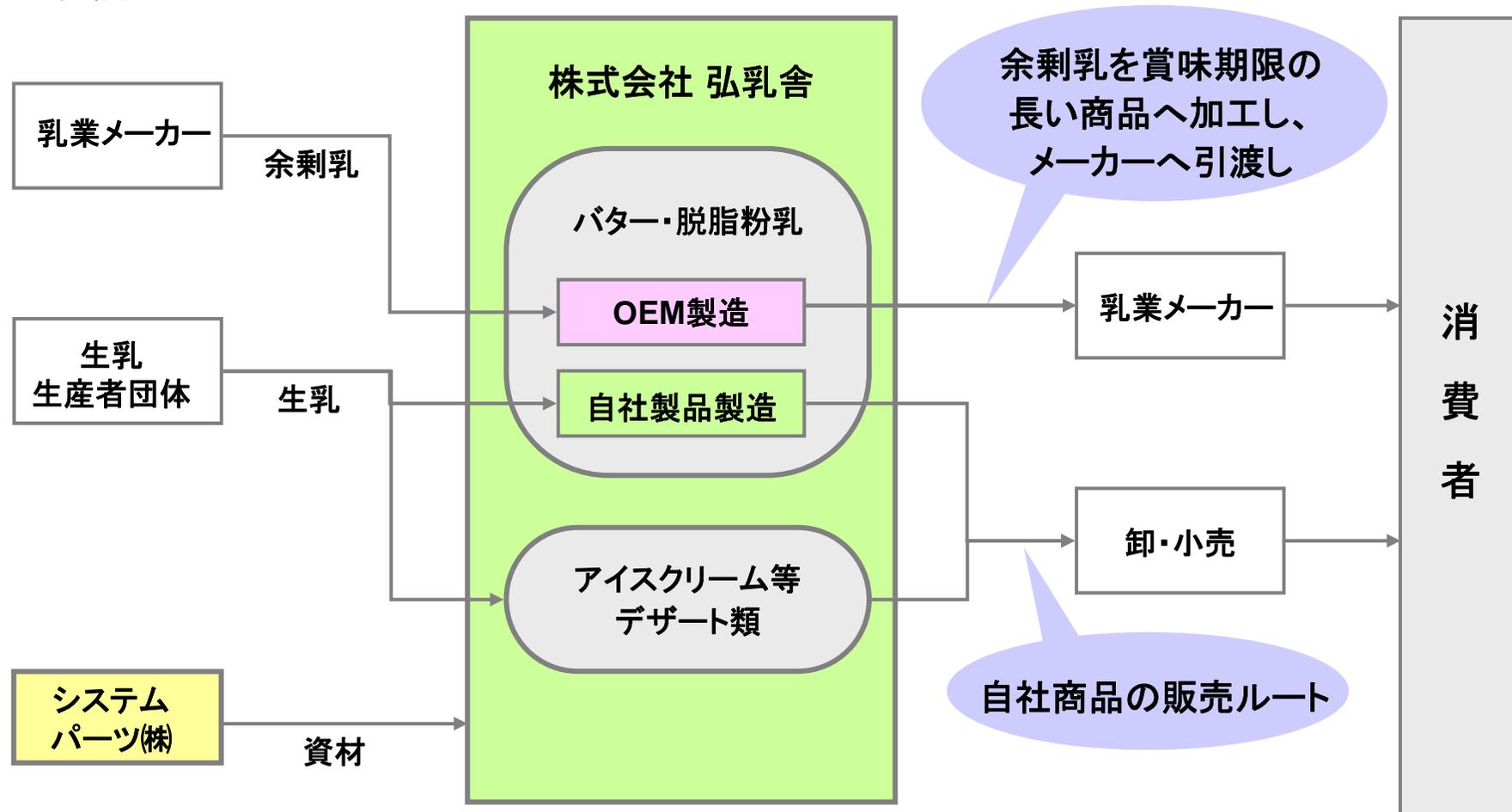
### 生産・技術

- 自社工場での製品化（競合他社に比べ多種多様な商品供給力）
- 「低単価」「短納期」体制による運営
- 世界初の最新鋭機器「化粧水マスク全自動製造機」の導入
- 医薬部外品認可工場（三島工場）

# (株)弘乳舎

〔会社概要〕 所在地: 熊本県熊本市 / 事業内容: 乳製品の製造販売 / 設立: 1956年3月

## ● 系統図



## 余剰乳とは

生乳出荷量と飲用需要不均衡により発生する余剰生乳。加工することにより製品化。

## 余剰乳の加工

余剰乳は、余剰処理施設でバター・脱脂粉乳等、賞味期限の長い商品に加工。



弘乳舎のように年間を通して稼動する工場は少ない。

## 競合他社との比較

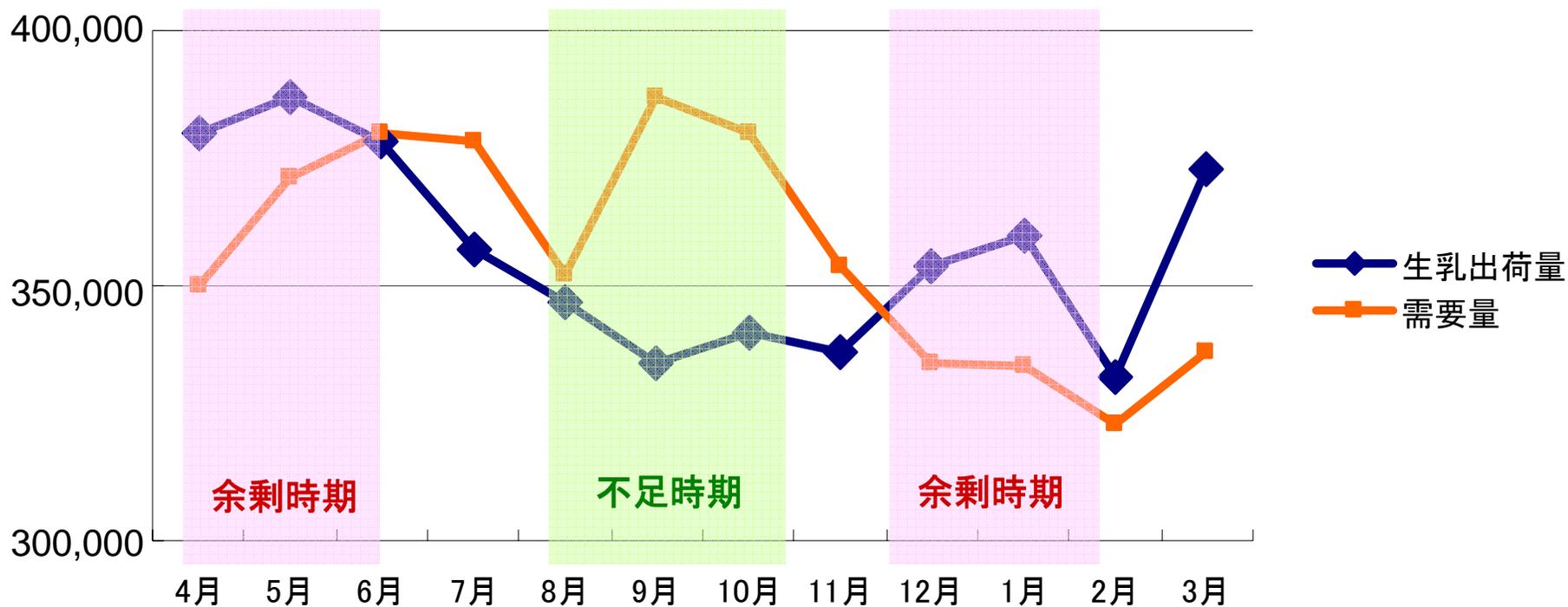
青森以南において、余剰乳専門処理工場は、弘乳舎を含め限定されている。  
競合は少なく、弘乳舎の処理能力はNo.1(1日あたり550t)

## 余剰乳の発生要因

年間を通じて生乳出荷量と飲用需要にズレがあり、余剰乳はこの需要が少ない時期に発生。特に、学校給食の休止期(年末年始・春休み等)は、大量に余剰乳が発生する。

### 【 生乳出荷量と需要量 】

(単位:トン)



# 1. 第2四半期業績概要

---

 健康ホールディングス株式会社

## 第2四半期業績サマリー

# グループ全社 黒字達成

【第2四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

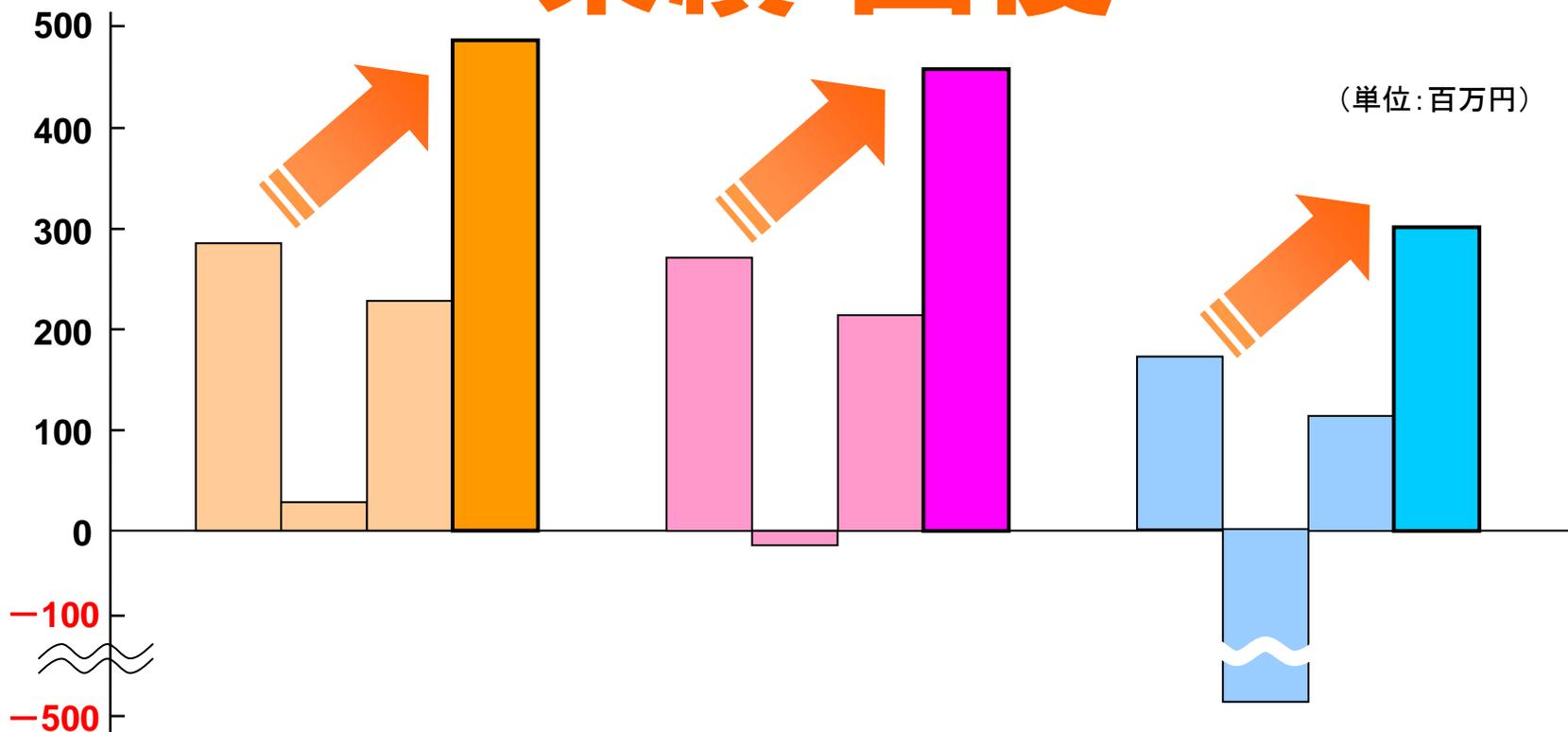
	第6期 (2009年3月期)	第7期 (2010年3月期)	前 期 比
売上高	3,963	4,093	130
営業利益	239	491	252
経常利益	217	468	251
四半期純利益	122	309	187

# 過去最高益

- ◆ 連結營業利益 過去最高益 … 491百万円
- ◆ 連結經常利益 過去最高益 … 468百万円
- ◆ 連結四半期純利益 過去最高益 … 309百万円

# 第2四半期業績推移 (連結営業利益・經常利益・四半期純利益)

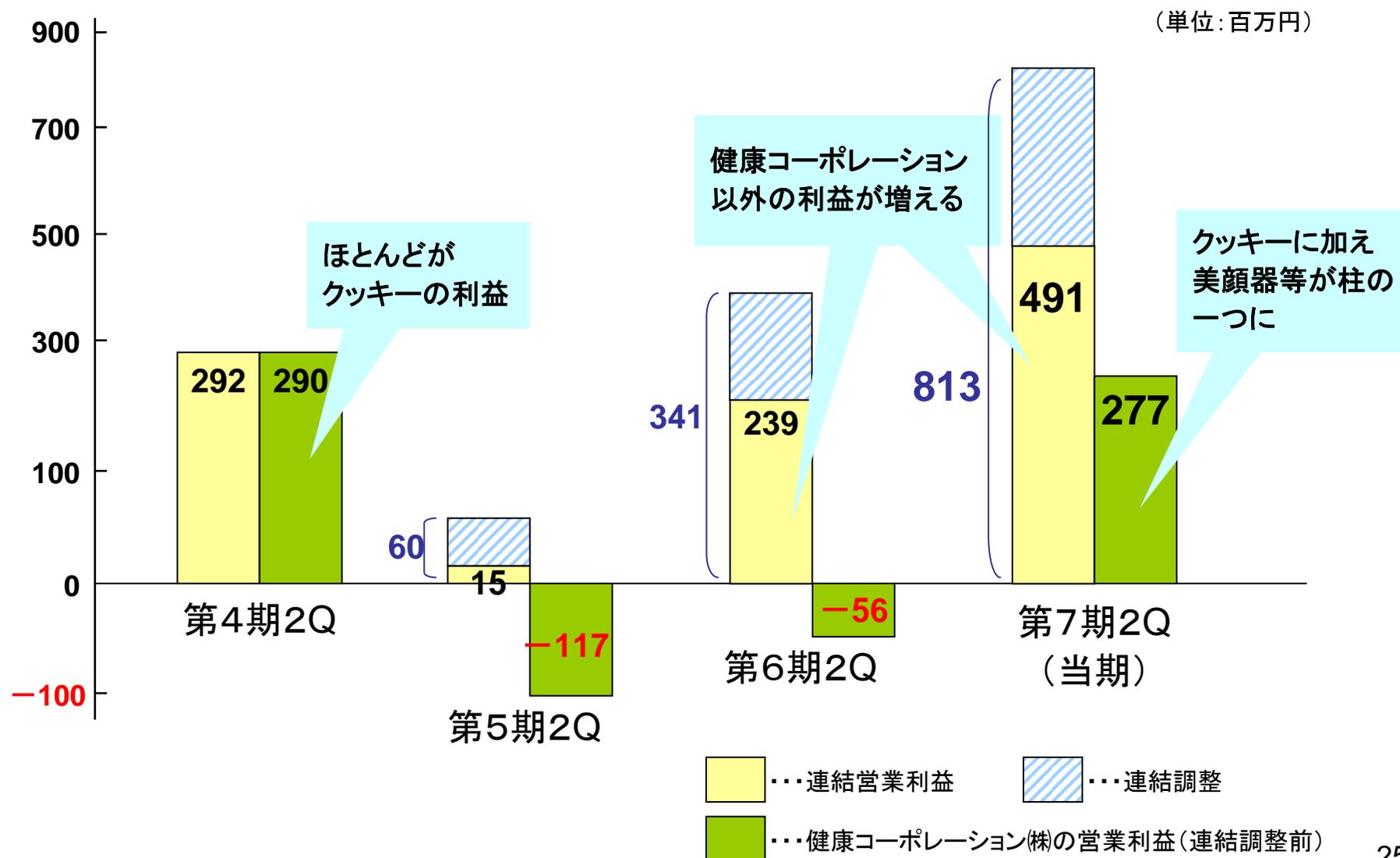
## 業績回復



	営業利益	經常利益	四半期純利益
第4期2Q	292	284	163
第5期2Q	15	△22	△470
第6期2Q	239	217	122
第7期2Q	491	468	309

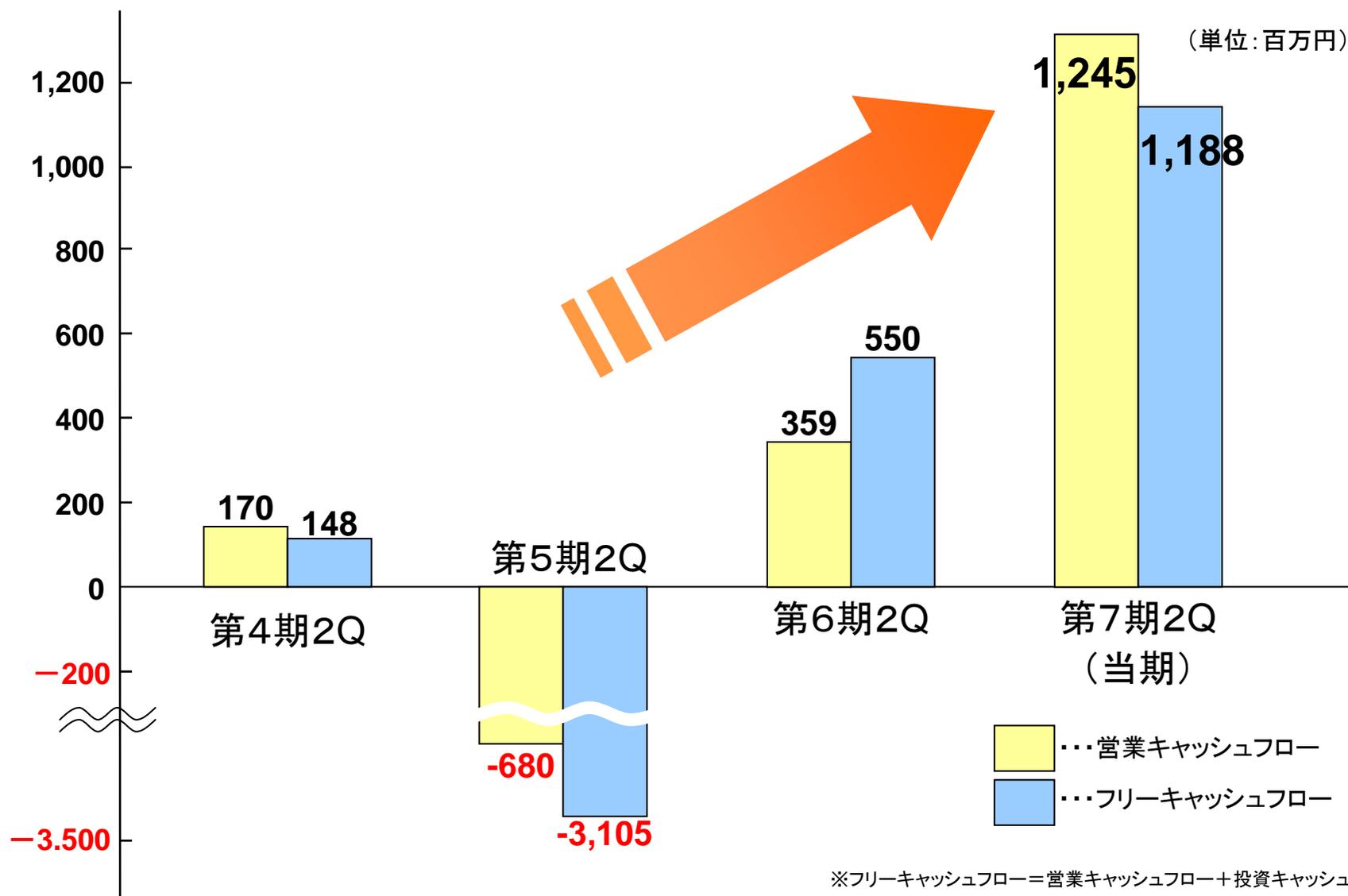
# 第2四半期営業利益推移（連結 vs 健康コーポレーション(株)）

## M & Aで 単品依存脱却



## 第2四半期業績推移（連結キャッシュフロー）

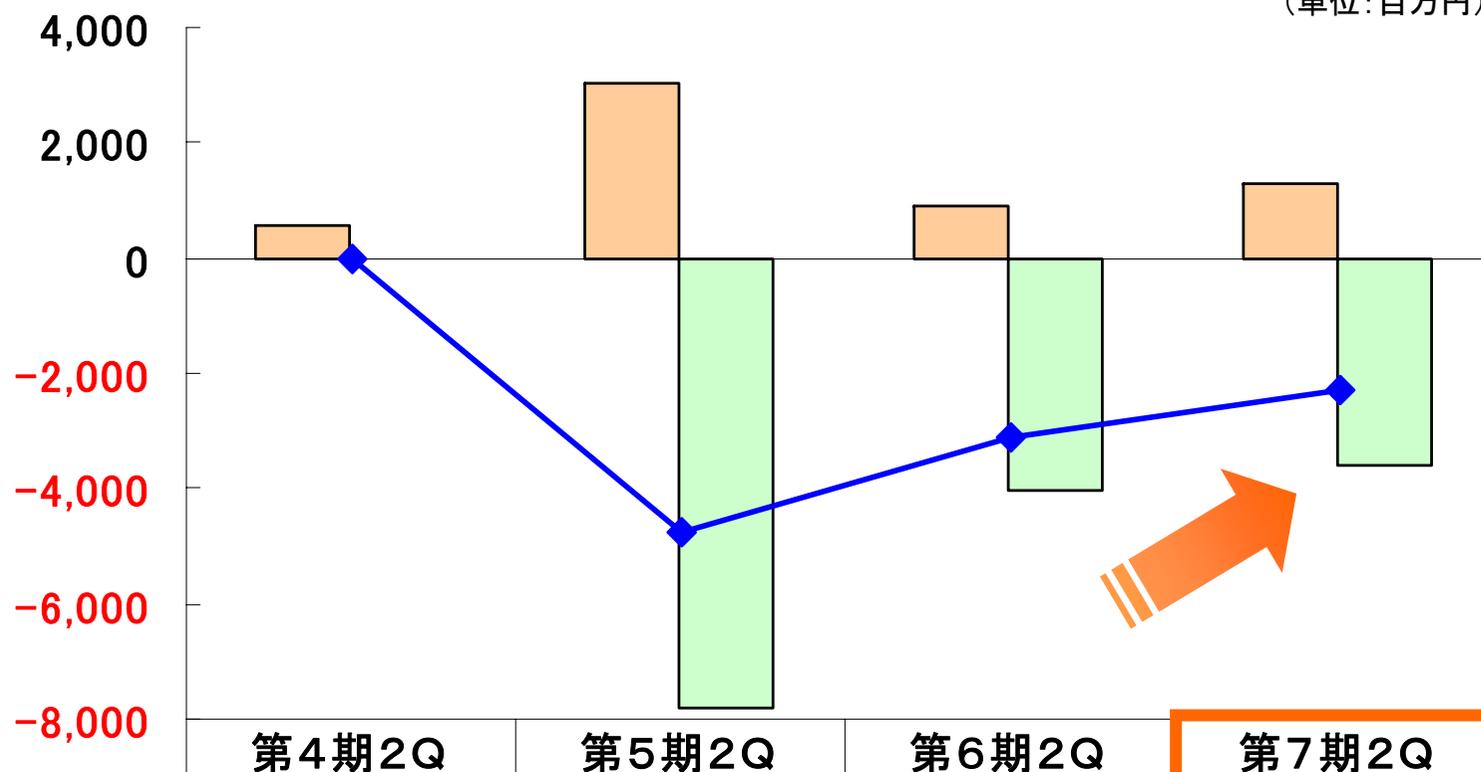
# キャッシュフローも大幅に改善



## 第2四半期業績推移（連結純有利子負債）

# 有利子負債も順調に減少

（単位：百万円）



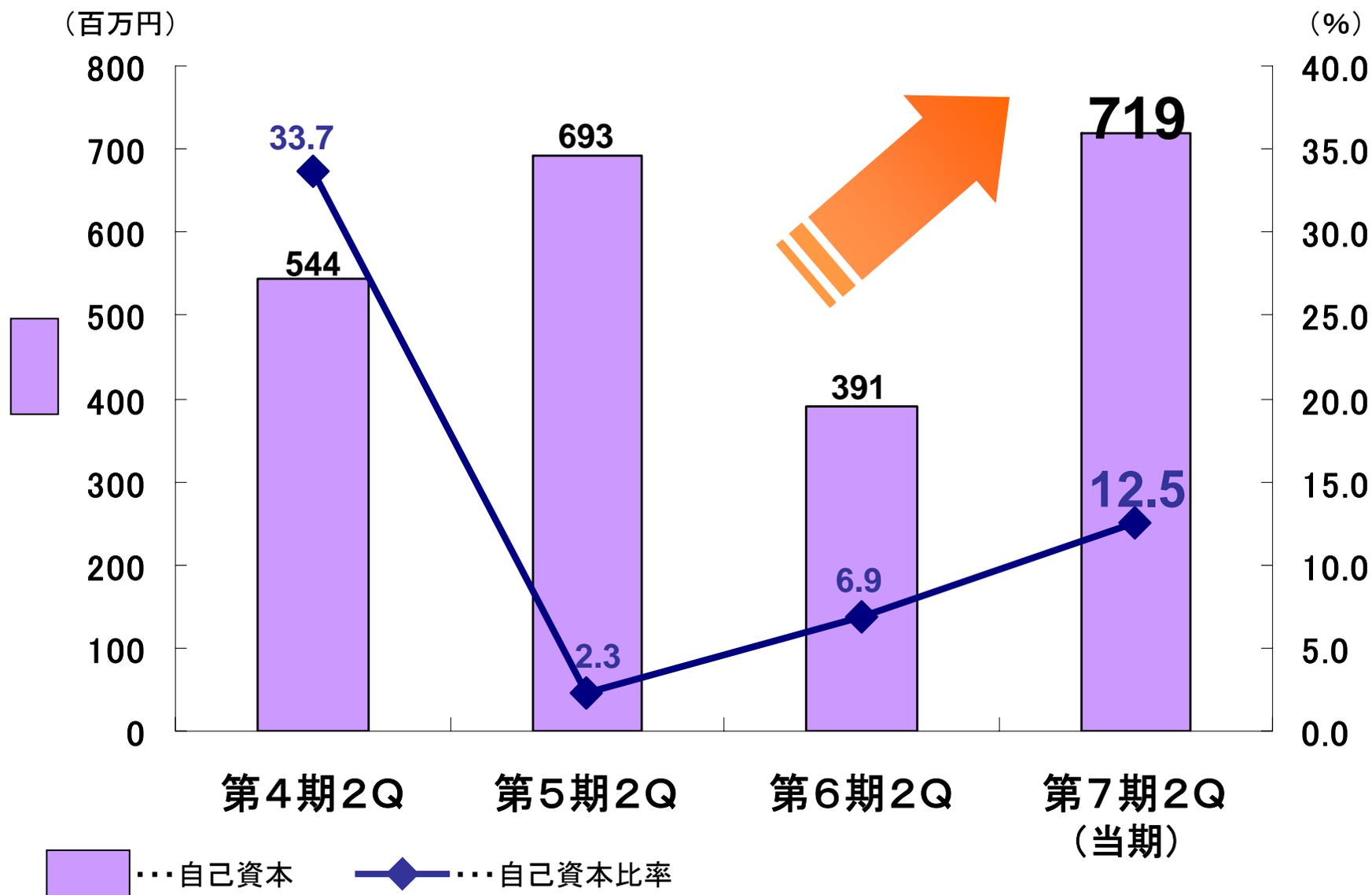
■ 手元流動性	541	3,038	910	1,305
■ 有利子負債	0	-7,800	-4,037	-3,616
◆ 純有利子負債	0	-4,762	-3,127	-2,311

※手元流動性 = 現預金

※有利子負債 = 長短借入金+社債

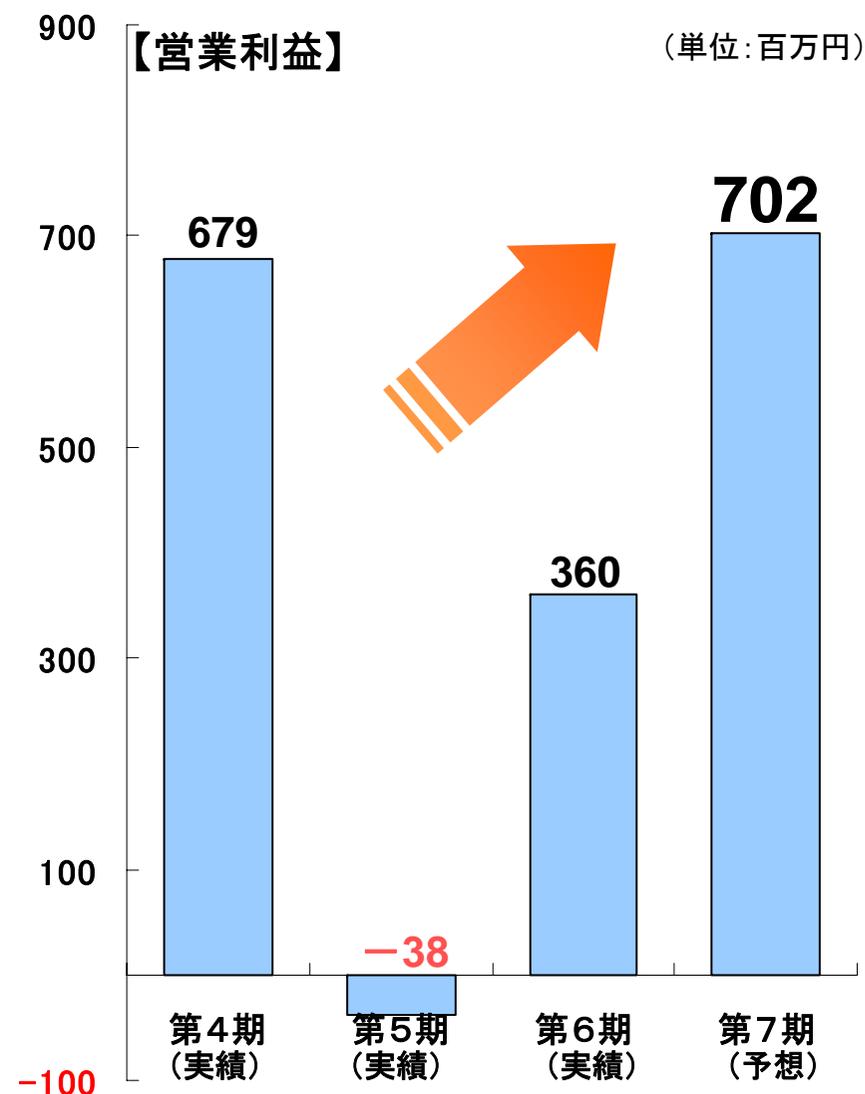
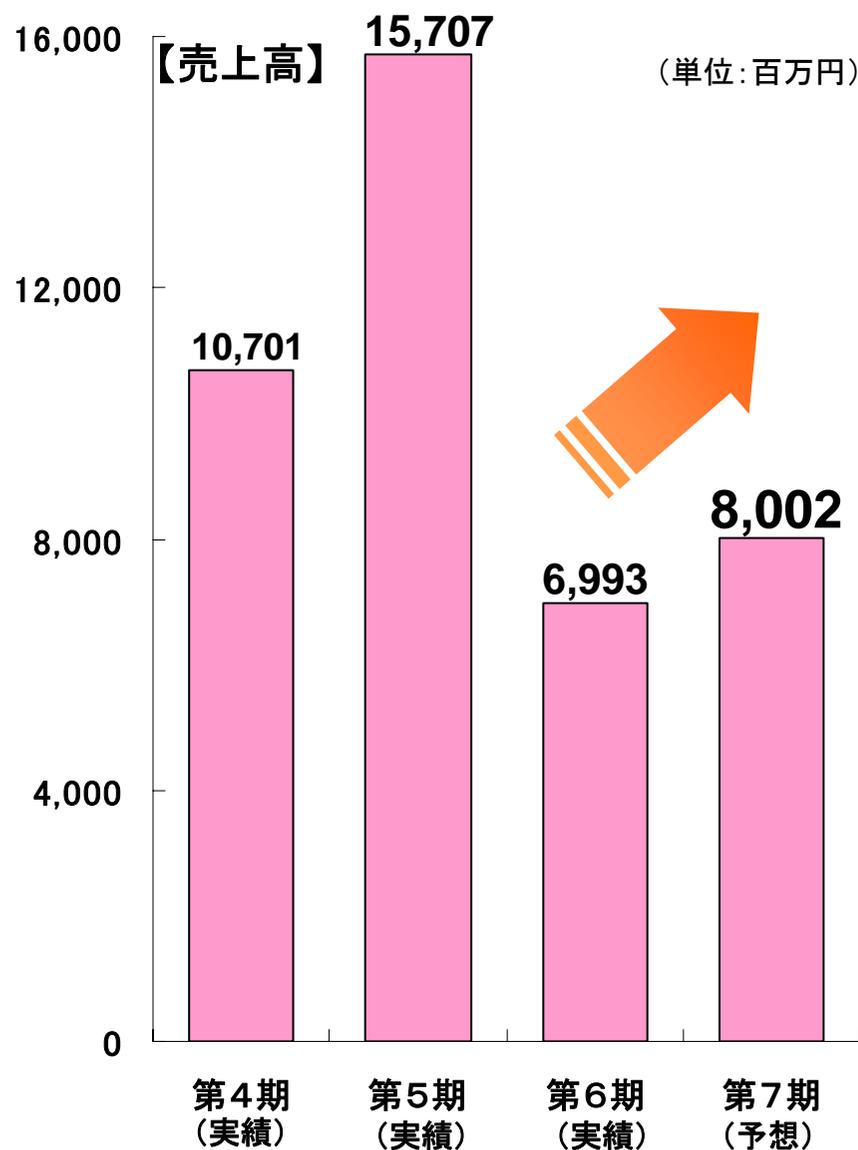
## 第2四半期業績推移（自己資本・自己資本比率）

# 自己資本比率も15%近くまで回復



# 連結業績予想（通期）

## 通期も 過去最高益の見通し



## 上場3周年記念配当を決定

当期の好調な業績と、上場3周年を記念し、配当を決定。

基準日	: 2009年9月30日
1株当たり配当金	: 50円00銭
配当金額	: 15百万円
効力発生日 (支払開始日)	: 2009年12月7日
配当原資	: 利益剰余金

### 今後の配当方針

当社単体 年間配当性向 **20～25%**を目処とする事を決定

# 株主優待

## 株主優待内容

『豆乳クッキーダイエット』(健康コーポレーション(株)商品)



### 【贈呈基準】

毎期末時点での所有株式	贈呈箱数
20株以上60株未満	1箱
60株以上100株未満	2箱
100株以上200株未満	3箱
200株以上	4箱

今後も引き続き、様々な利益還元・株主優待を通じて  
株主の皆様のご期待に応えてまいります。

ご清聴、誠にありがとうございました。  
今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



健康ホールディングス株式会社

<http://www.kenkou-hd.com>